

# 景況

レポート  
2024年4～6月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは  
前期比0.6ポイントマイナス

今回のアンケート調査は、原材料価格の高止まりや個人消費の低迷などのマイナス要因と賃上げの実施による消費マインドの改善やインバウンド需要の拡大などプラス要因が入り混じった環境下で実施いたしました。結果として、今期の全業種業況DIは▲12.2の前期比0.6ポイントマイナスとなり、全体の業況判断としては横ばいとなりました。今後については、プラス要因として、実質賃金の引き上げや定額減税実施による個人消費の拡大、企業においては、自動車産業の生産再開や引き続き旺盛なインバウンド需要などが考えられます。一方、マイナス要因としては、原材料価格の高止まりや円安に加え、電気料金の引き上げによるコスト負担の増加などがあります。プラス・マイナス相殺により引き続き現在の状況が続くことが予想され、来期の見通しについてもほぼ横ばいとなっております。

調査要領	合計			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1599社	469社	29.3%	254社	69社	27.2%	119社	37社	31.1%	294社	84社	28.6%
	357社	124社	34.7%	287社	81社	28.2%	288社	74社	25.7%			

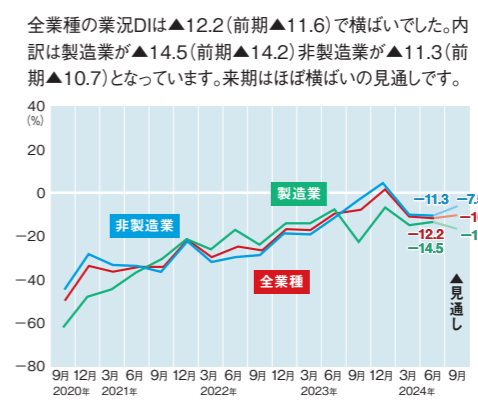
調査時点/2024年5月15日～6月5日  
調査依頼先/当庫取引先  
調査方法/郵送調査  
調査対象期間/[今期]2024年4月～6月  
[前期]2024年1月～3月  
[来期]2024年7月～9月  
分析方法/[増加](上昇)したとする企業の構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

## 全業種総合DI

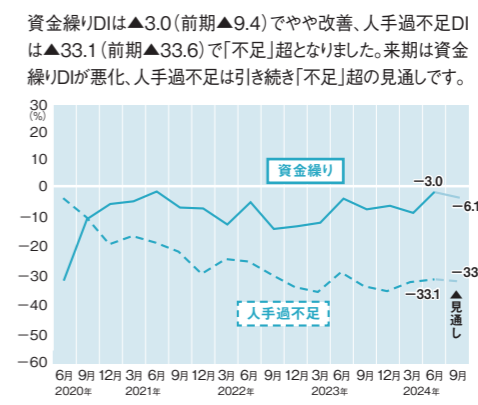
業況は、横ばい  
来期は、ほぼ横ばいの見通し

前期  
今期  
見通し

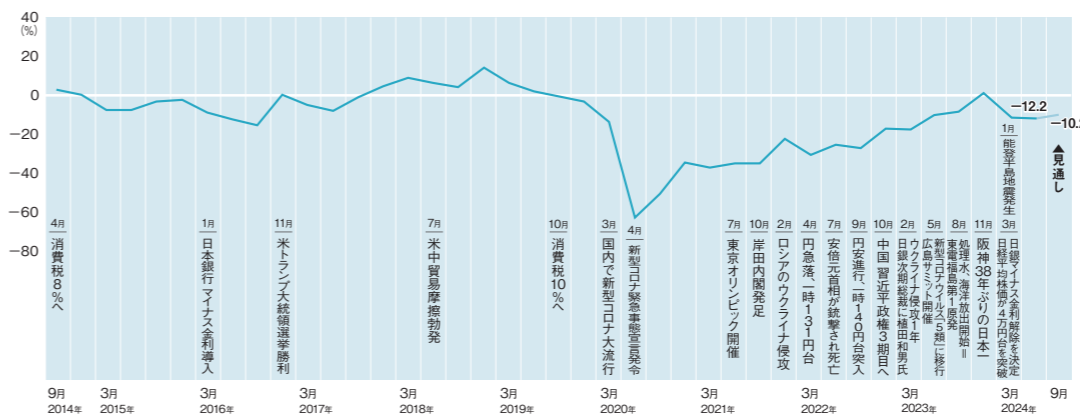
## 業況DIの推移



## 資金繰りDI: 人手過不足DI



## 10年間の推移(業況DI)



## 製造業

業況は横ばい、  
来期は悪化の見通し

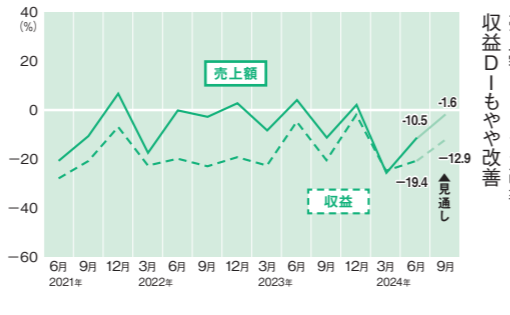
前期  
今期  
見通し

## 建設業

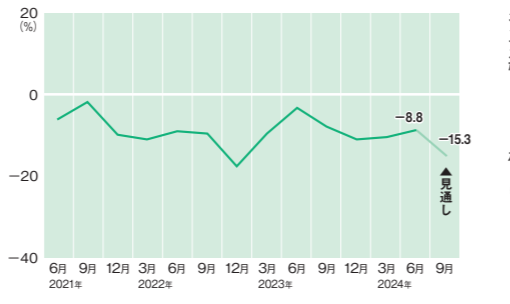
業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し

前期  
今期  
見通し

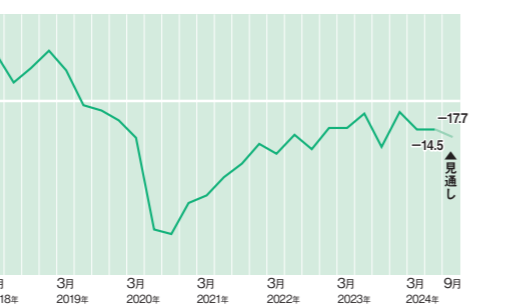
## 売上額・収益DI(前期比)



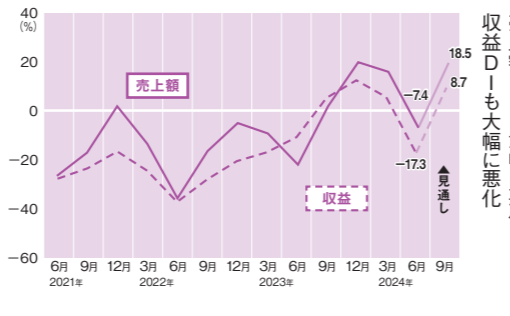
## 資金繰りDI



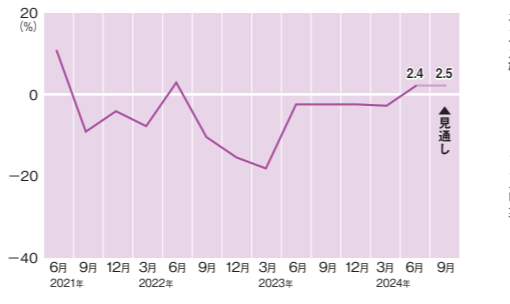
## 10年間の推移(業況DI)



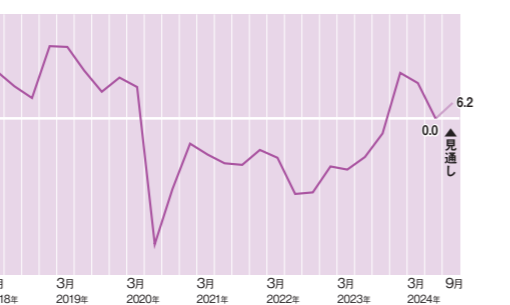
## 売上額・収益DI(前期比)



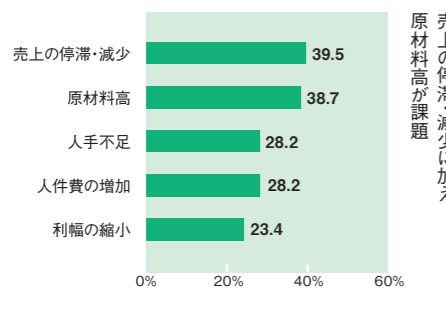
## 資金繰りDI



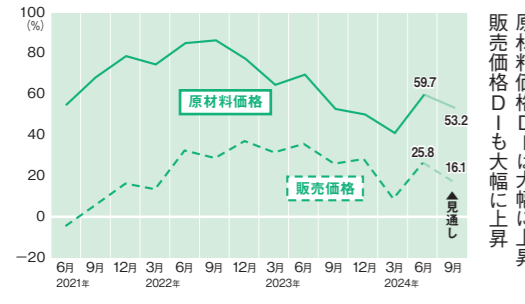
## 10年間の推移(業況DI)



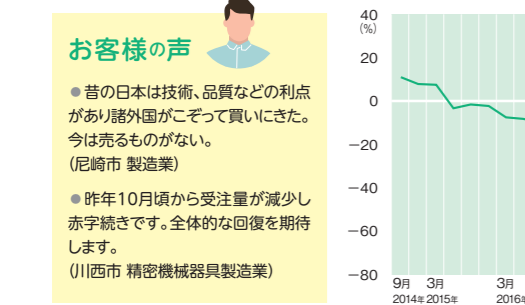
## 経営上の問題点



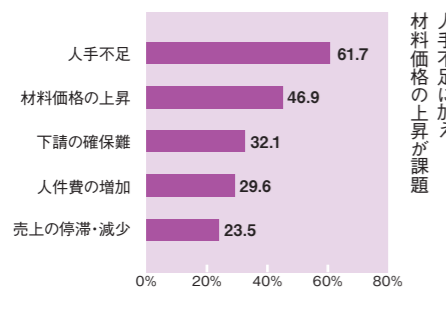
## 価格DI



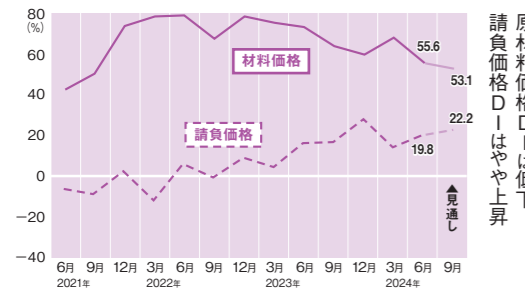
## 10年間の推移(業況DI)



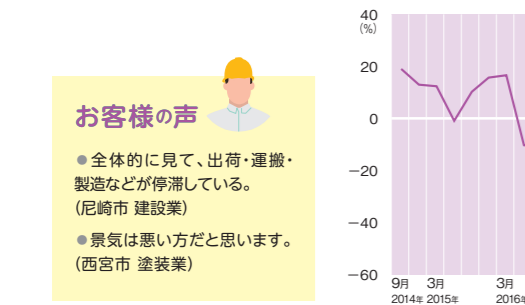
## 経営上の問題点



## 価格DI



## 10年間の推移(業況DI)



### お客様の声

- 昔の日本は技術、品質などの利点があり諸外国がこぞって買いにきた。今は売れるものがない。(尼崎市 製造業)
- 昨年10月頃から受注量が減少し赤字続きです。全体的な回復を期待します。(川西市 精密機械器具製造業)

### お客様の声

- 全体的に見て、出荷・運搬・製造などが停滞している。(尼崎市 建設業)
- 景気は悪い方だと思います。(西宮市 塗装業)

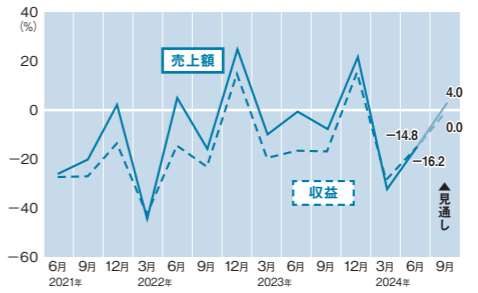


# 卸売業

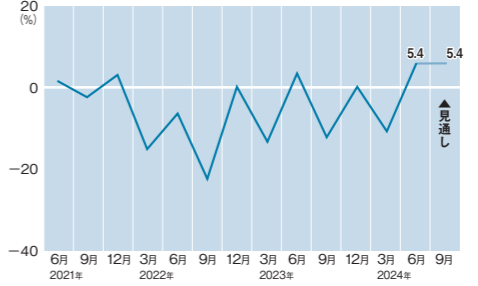
業況はやや改善、  
来期もやや改善の見通し



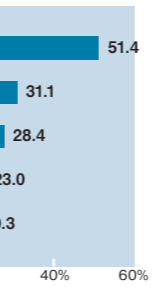
**売上額・収益D1(前期比)**  
売上額D1は改善、  
収益D1はやや改善



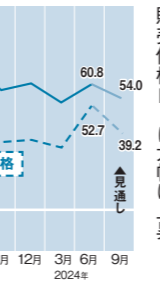
**資金繰りD1**  
資金繰りD1は大幅に改善



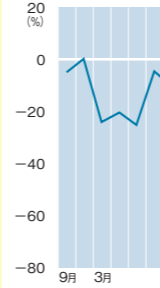
**10年間の推移(業況D1)**



**経営上の問題点**  
売上の停滞・減少が課題



**価格D1**  
仕入価格D1はやや上昇、  
販売価格D1は大幅に上昇



**お客様の声**

- 昨年よりすべての物価が上がり利益、人材の確保が難しく、日々、スタッフ皆で悩んでいます。少しでも会社が良くなるように日々努めて参ります。(尼崎市 機械器具卸売業)
- 新築着工件数は今年は昨年と比べ減少すると思います。今後はリフォームが重要視されると考えます。(川西市 卸売業)
- 輸入品が多いので為替レートが少しでも円高に振れて欲しい。(三木市 卸売業)

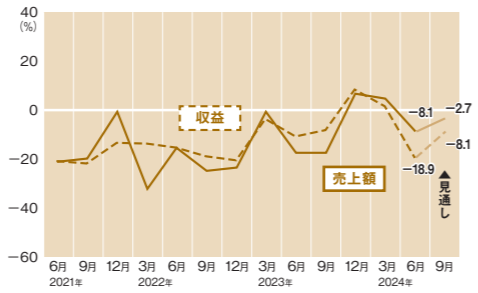


# 不動産業

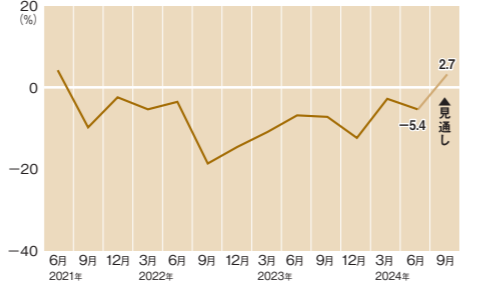
業況は悪化、  
来期も悪化の見通し



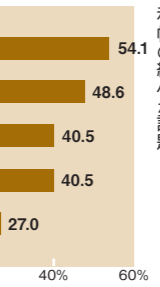
**売上額・収益D1(前期比)**  
売上額D1は悪化、  
収益D1は大幅に悪化



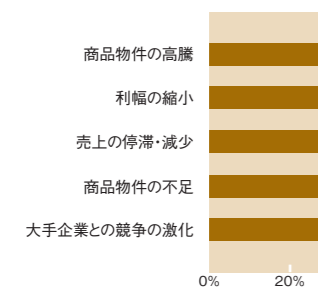
**資金繰りD1**  
資金繰りD1はほぼ横ばい



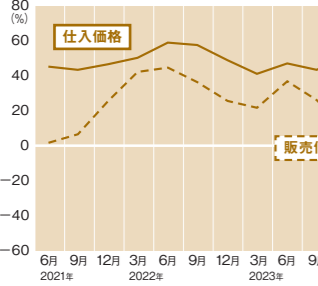
**10年間の推移(業況D1)**



**経営上の問題点**  
商品物件の高騰に加え、  
利幅の縮小が課題



**価格D1**  
仕入価格D1は大幅に上昇、  
販売価格D1はほぼ横ばい



**お客様の声**

- 資産価値の下がっている物件の賃貸や売却にやや苦しんでいる。(尼崎市 不動産業)

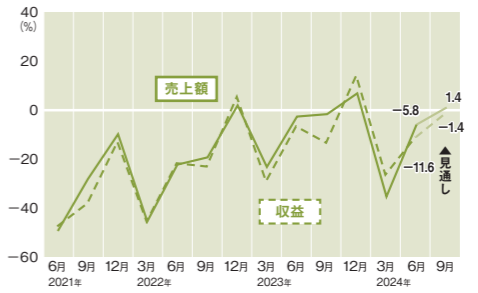


# 小売業

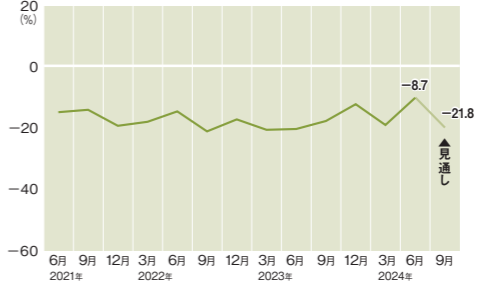
業況はほぼ横ばい、  
来期は改善の見通し



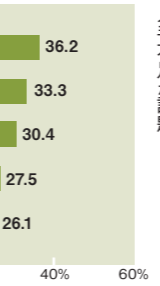
**売上額・収益D1(前期比)**  
売上額D1は大幅に改善、  
収益D1はやや改善



**資金繰りD1**  
資金繰りD1は改善



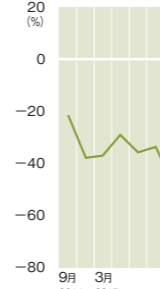
**10年間の推移(業況D1)**



**経営上の問題点**  
売上の停滞・減少に加え、  
人手不足が課題



**価格D1**  
仕入価格D1はやや上昇、  
販売価格D1は大幅に上昇



**お客様の声**

- 災害に対するBCPIはありますが、対策はできていない。(大阪市 小売業)
- 2030年ごろまでに東海地方に地震が来るといわれているのである程度は準備しているが、実際に地震がくると銀行もパソコンもすべて動かなくなる。ある程度の現金保有は必要と考えるが盗難などのことを考えると躊躇する。(宝塚市 小売業)

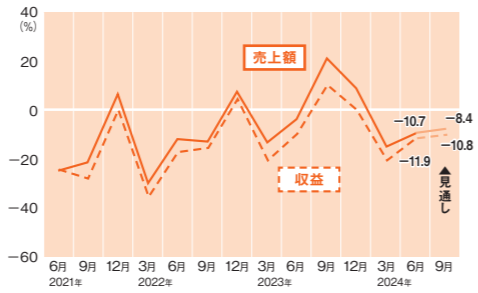


# サービス業

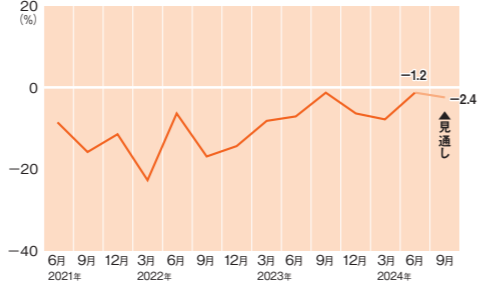
業況は改善、  
来期は悪化の見通し



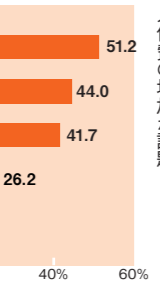
**売上額・収益D1(前期比)**  
売上額D1はやや改善、  
収益D1もやや改善



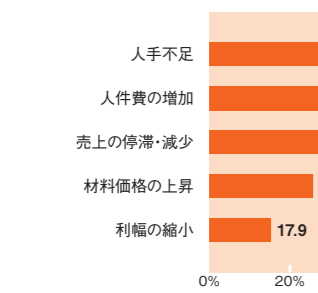
**資金繰りD1**  
資金繰りD1はやや改善



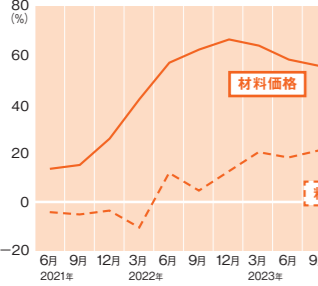
**10年間の推移(業況D1)**



**経営上の問題点**  
人手不足に加え、  
人件費の増加が課題



**価格D1**  
材料価格D1は上昇、  
料金価格D1は横ばい



**お客様の声**

- 購入数の減少により収益がやや減少する見込みです。(尼崎市 サービス業)
- 大阪港のコンテナ輸送が不振のため当社への売上に少なからず響いている。(大阪市 運送業)

# 特別調査 2

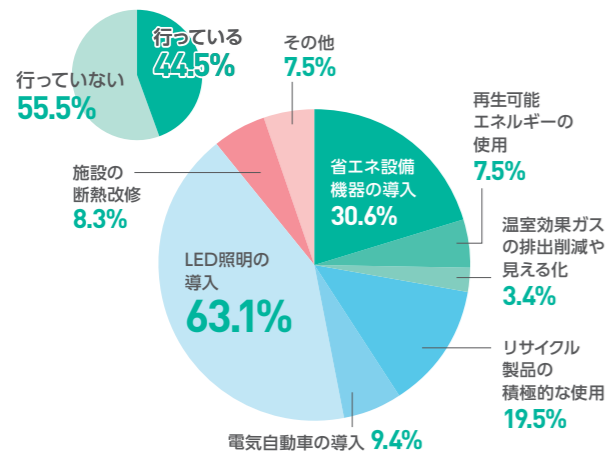
## 脱炭素経営の取り組み状況に関する調査について

近年、世界的に環境問題や気候変動対策への意識が高まり脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。こうした中で我が国においても大手企業を中心に温室効果ガスの排出量削減や再生可能エネルギーへの転換などの取り組みが拡大しており、今後中小企業にとっても避けることができない経営課題になると思われます。今回は脱炭素経営に向けた取り組みについてアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2024年5月15日～6月5日 調査対象企業数 / 1599社 有効回答数 / 454社 有効回答率 / 28.4% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

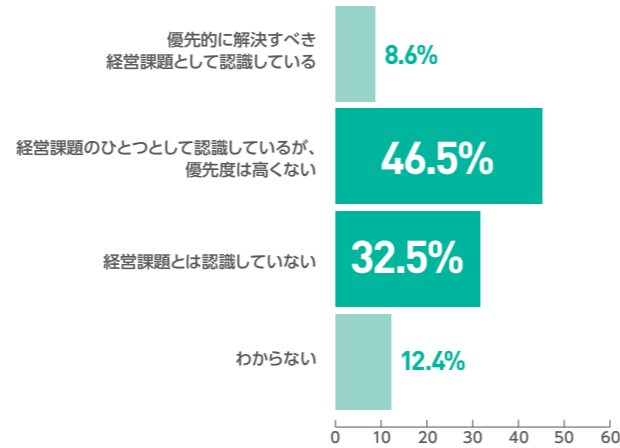
### Q1

貴社では脱炭素化に向けた取り組みを実施していますか。 ※1つ選択  
貴社が既に取り組んでいる、もしくは今後実施したいと考える取り組みをお答えください。 ※最大2つ選択



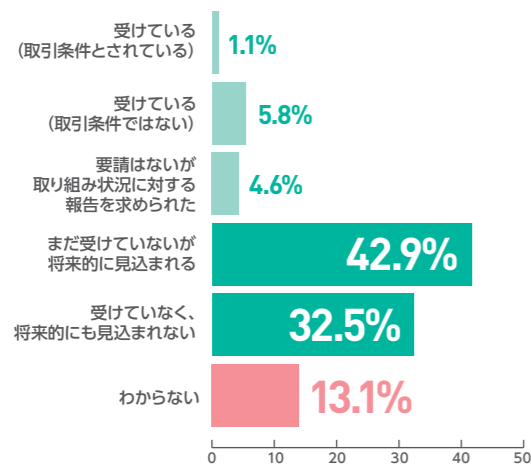
### Q2

貴社の脱炭素に対する優先度についてお答えください。 ※1つ選択



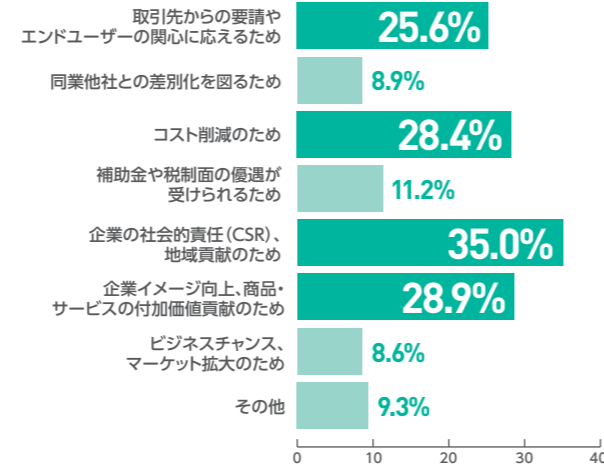
### Q3

取引先から脱炭素に向けた具体的な要請を受けていますか。 ※1つ選択



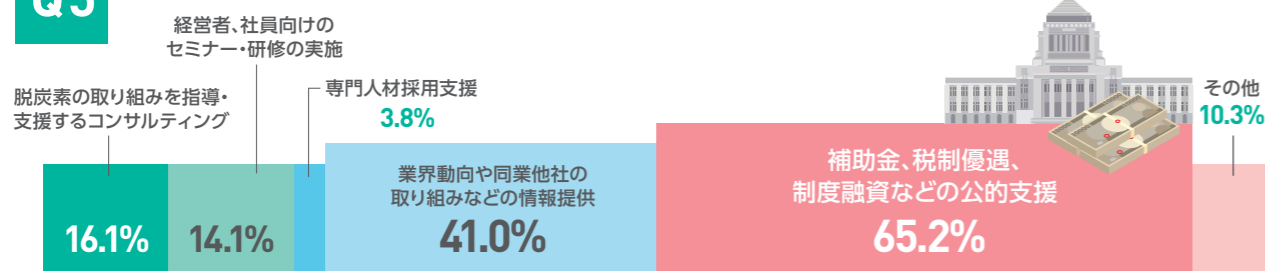
### Q4

貴社が考える脱炭素経営の目的についてお答えください。 ※最大2つ選択



### Q5

貴社が脱炭素に取り組むにはどのような支援が必要かお答えください。 ※最大2つ選択



# 特別調査 1

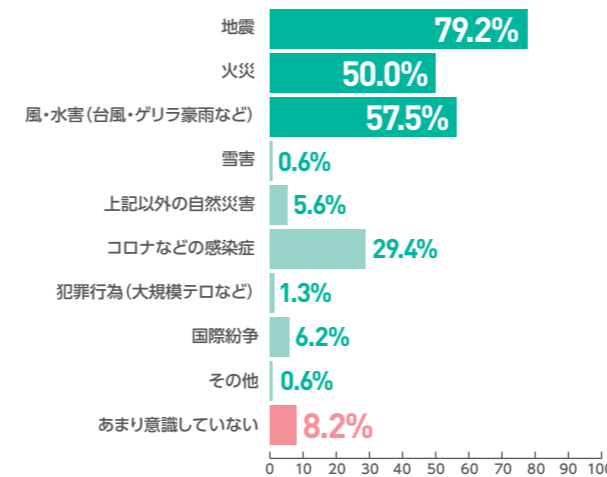
## 中小企業における災害時への対応について

企業における災害対応は、従業員の安全確保と事業継続の両立が求められる重要な課題です。毎年のように地震や風水害をはじめとする大規模な災害が発生しており、多大な被害を受ける企業も少なくありません。今回は災害に対する企業の意識はどうか、災害に対する準備をどの程度実施しているかなどについてアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2024年5月15日～6月5日 調査対象企業数 / 1599社 有効回答数 / 466社 有効回答率 / 29.1% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

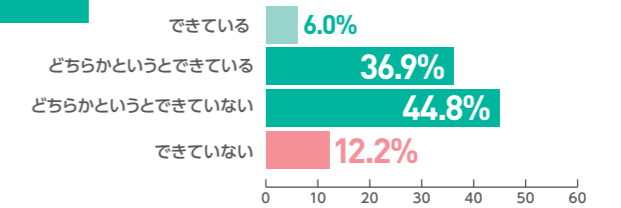
### Q1

貴社では、普段どのような災害を意識していますか。 ※最大3つ選択

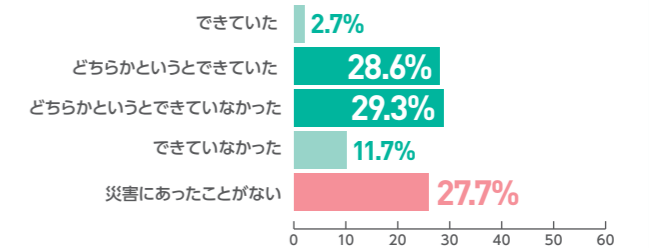


### Q2

現在の災害への備えの自己評価 ※1つ選択

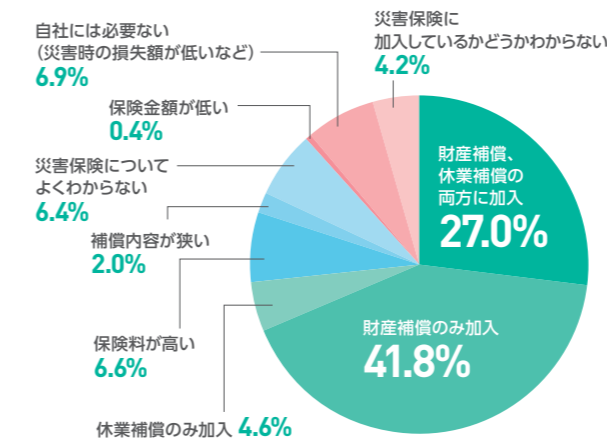


実際の災害にあった際に自社の備えをどう感じたか ※1つ選択



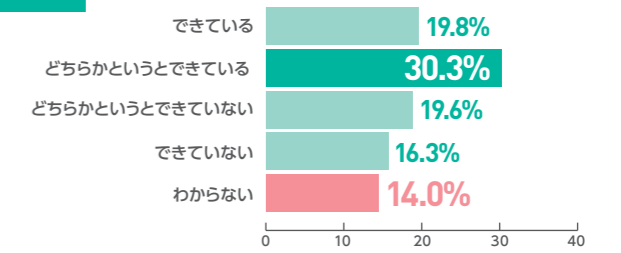
### Q3

貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償や休業補償に加入されていますか。加入している場合はその内容、加入していない場合はその理由 ※1つ選択

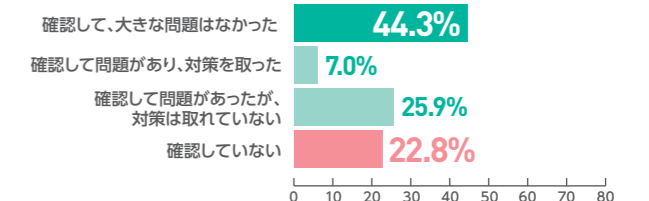


### Q4

貴社では建物の耐震について、どのように考えていますか。 ※1つ選択

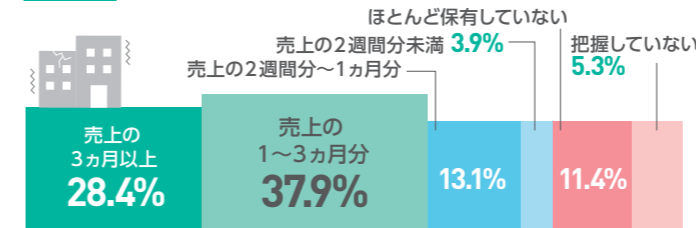


自社所在地周辺のハザードマップを確認していますか。 ※1つ選択



### Q5

災害にそなえて現預金を通常どの程度保有していますか。 (現預金の保有が最も少ない時期を想定して) ※1つ選択



自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援を受けたことがありますか ※1つ選択

